

## 施工説明書

## 防露式密結ロータンク



※品番は代表的なものを例示

DT-PA280U

DT-PA250U

## 安全のために守ってください！

便器を取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあわせていただきます。  
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

## 用語の説明

- 警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。  
**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

## 警告

- 本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。  
※ 感電・火災の恐れがあります。  
(100V 電源使用の場合) 水かけ禁止
- 修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。  
※ 感電・火災・ケガの原因になります。  
(100V 電源使用の場合) 分解禁止
- ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
※ 感電の原因になります。  
(100V 電源使用の場合) ぬれ手禁止
- バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。  
※ 感電・火災の原因となります。  
(100V 電源使用の場合) 水場使用禁止
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合) 禁止
- ガタついているコンセントは使用しないでください。  
※ 感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合) 禁止
- 交流 100V 以外では使用しないでください。  
●タコ足配線など定格をこえる使い方はしないでください。  
※ 火災の原因となります。(100V 電源使用の場合)  
電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
※ 感電・火災の原因になります。  
(100V 電源使用の場合) 指示実行

## 注意

- 陶器は割れものです。  
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。  
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、便器洗浄操作を行ってください。

- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがローリングに付着していないことを確認し、すき間がないようにしっかりと閉めてください。

※ ローリングにゴミが付着していると、漏水し、室内浸水の原因になります。

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
※漏水し、室内浸水の原因になります。お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
※凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

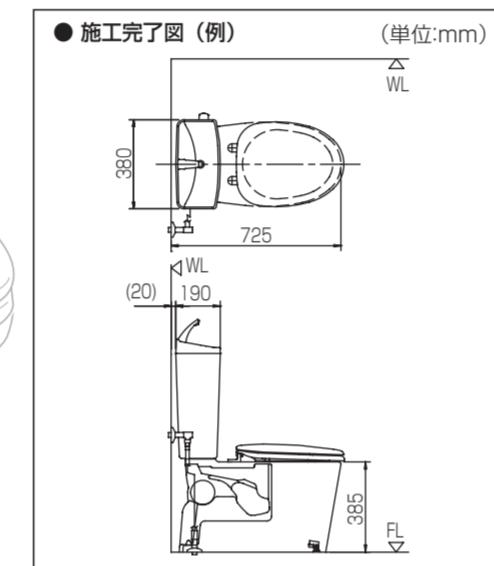
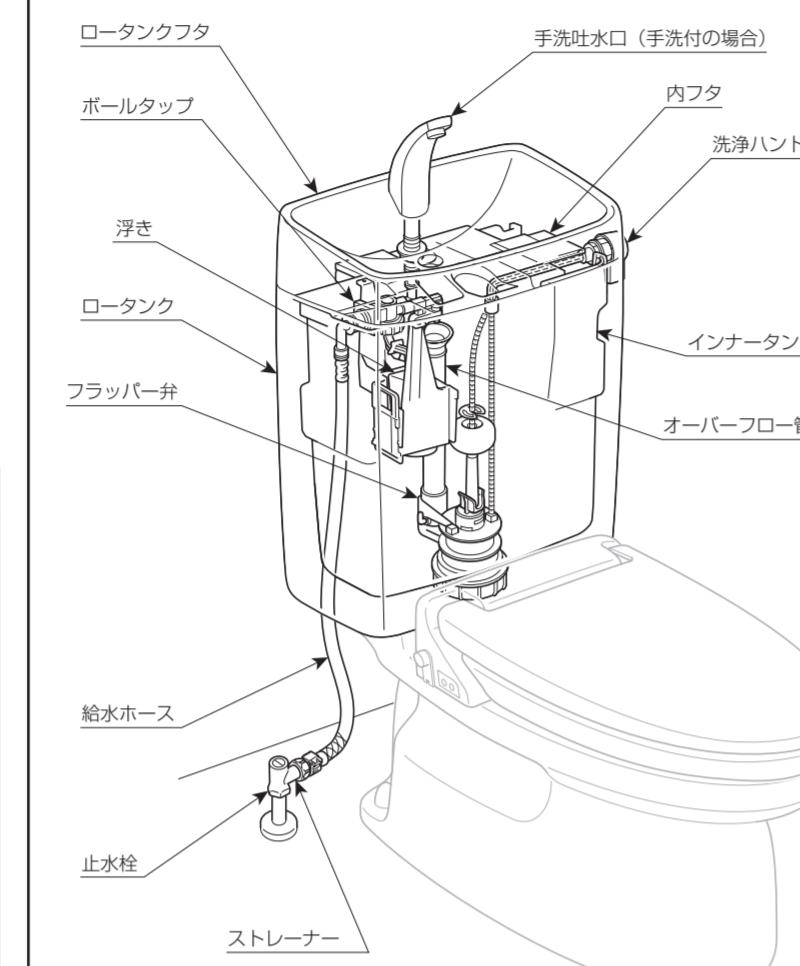
株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ

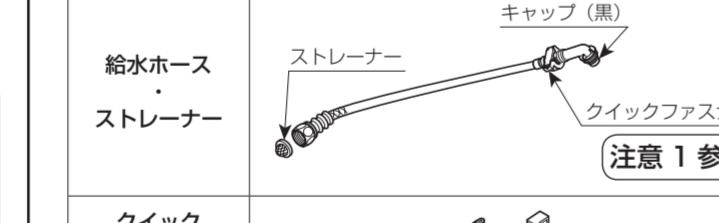
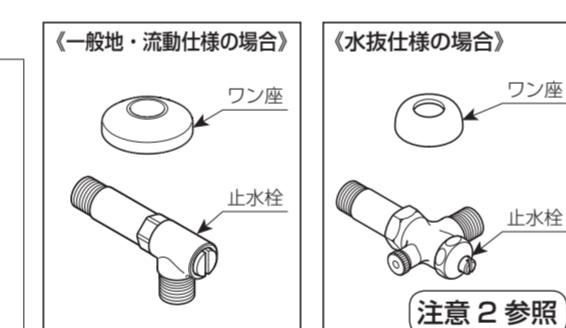
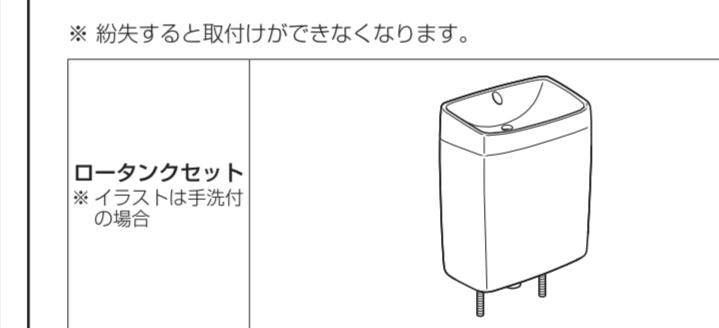
お客様相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

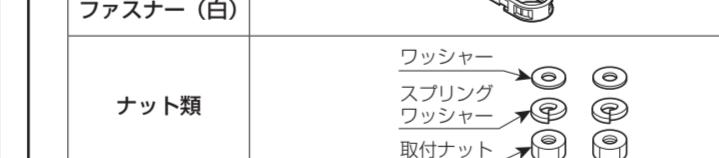
## 各部のなまえ



## 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

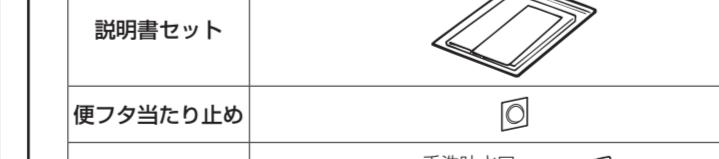


## 注意 1

給水ホースのクイックファスナーは外さないでください。  
※きちんとまつないと漏水します。

## 注意 2

- 水抜き仕様の場合で、給水位置が下図範囲内の場合は、  
-水抜き操作や給水ホースの取廻しができないため、下記部材が別途必要になります。  
取替用水抜栓セット A-7962
- 給水位置が下図以外の場合、給水位置の変更が必要です。



## 注意 3

●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。

●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、便器洗浄操作を行ってください。

●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがローリングに付着していないことを確認し、すき間がないようにしっかりと閉めてください。

※ ローリングにゴミが付着していると、漏水し、室内浸水の原因になります。

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。

※漏水し、室内浸水の原因になります。

お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

※凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客様に必ず本書と取扱説明書や保証書（暖房便座の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

注意 3

止水栓の給水口の向きに注意して取り付けてください。  
※対向側に向けるとロータンクの給水ホースが接続できなくなります。  
※給水ホースが折れ曲がらないよう、給水口の向きを調整してください。

注意 4

止水栓の給水口は、給水ホースが折れないよう取り付けてください。  
※止水栓の給水口の方向および、給水ホースの取り廻し方法は、便器の排水方向により異なります。詳細は以下から読み取って、資料をご確認ください。  
《一般地・流動仕様の場合》 《水抜仕様の場合》

注意 5

■タンク設置前  
●ディストリビューターを確実にめ込むため以下の点に注意してロータンクを設置してください。  
1.ディストリビューターの中心と密結ボルト穴が合っている。  
2.ディストリビューターが便器上面に対して垂直である。  
上記の2点と異なる場合は、正しい位置と角度に取り付け直してください。

正しい付け方

タンク設置時

●ディストリビューターは、必ずタンク差込口に確実にめ込んでください。  
※確実にめ込んでないと漏水・止水不良の原因になります。

タンク設置後

●フッパー弁を上げて、ディストリビューターが正しく差し込まれていることを確認してください。

悪い付け方

注意 6

取付ナットの締付けは片利きのないように左右交互に少しずつ行ってください。  
※陶器が割れる恐れがあります。  
※漏水の原因になります。

注意 7

ロータンクを背面側に押しつけて施工しないでください。  
※タンクが破損して、漏水の原因になります。

注意 8

○リングを傷つけないように注意してください。  
※○リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

注意 9

クイックファスナーのカバーは、確実にめ込んでください。  
※きちんとまつないと漏水の原因となります。

悪い付け方

施工方法

1 止水栓の取付け

壁・床仕上げ完了後、右図を参考に止水栓を1カ所取り付けます。

注意 3 参照

注意 4 参照

止水栓取付位置と給水口の向き

便器側へ向け45°

※ 水抜き仕様の場合、便器側へ向ける

下向き

280mm

500mm

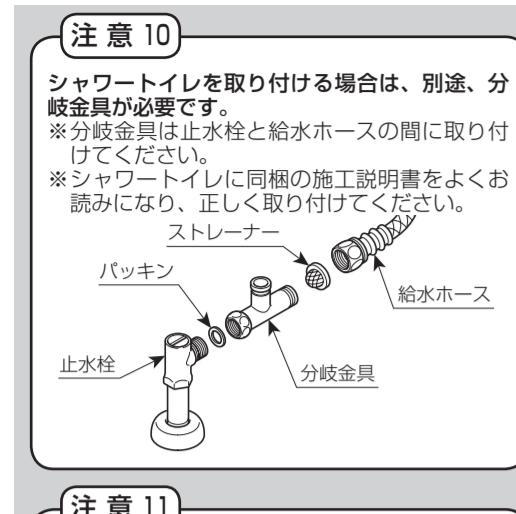
150mm

100mm

便器中心

便器側へ向ける

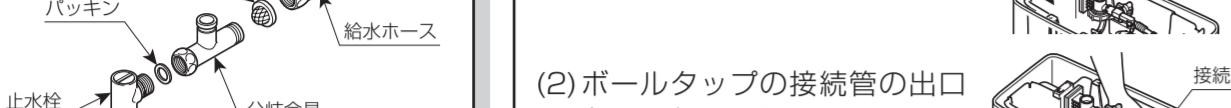
<div data-bbox="654 908 770 918

**注意 10**

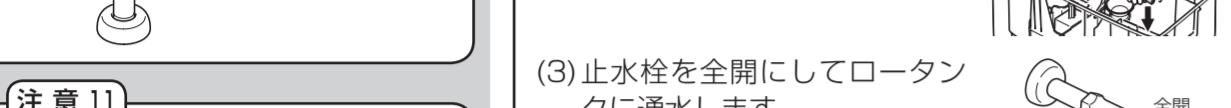
シャワートイレを取り付ける場合は、別途、分歧金具が必要です。  
※分歧金具は止水栓と給水ホースの間に取り付けください。

※シワートイレに同梱の施工説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

(1) ロータンクの内フタを取り外します。



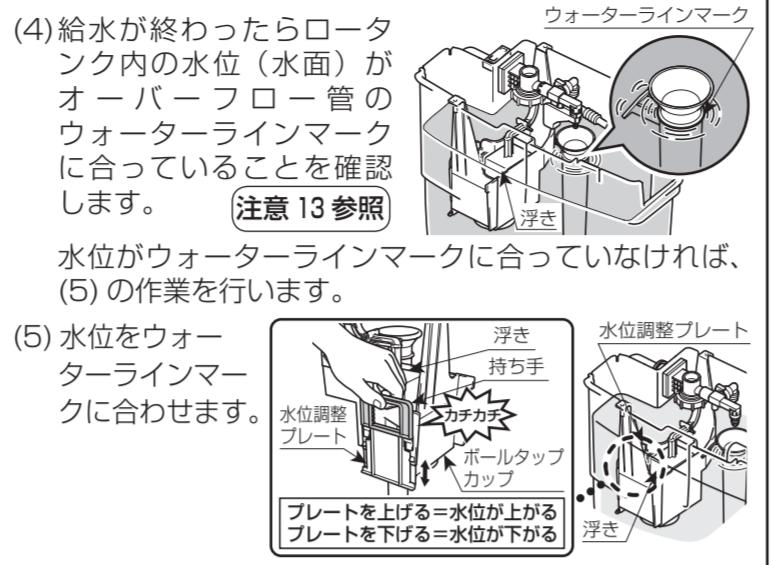
(2) ボールタップの接続管の出口を下に向けます。



(3) 止水栓を全開にしてロータンクに通水します。

注意 12 参照

(4) 給水が終わったらロータンク内の水位(水面)がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認します。 注意 13 参照



(5) 水位をウォーターラインマークに合わせます。

浮き 持ち手 ボルタップ カップ ブレートを上げる=水位が上がる ブレートを下げる=水位が下がる

(6) 止水栓を開けます。

止水栓を開く

止水